

地域における関係人口のダイナミズム

専門分野

経営学

キーワード

地域経済、燕三条、起業活動、アントレプレナーシップ、関係人口

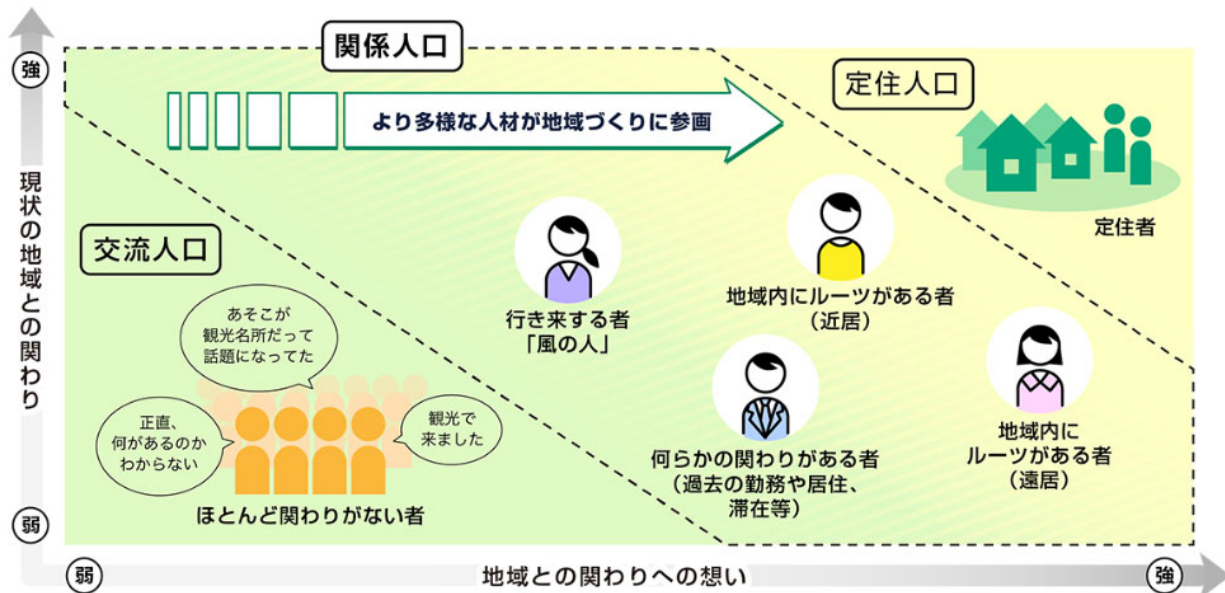
研究目的・概要

地域には、地方圏における産業の空洞化（特に地方の農業や中小企業・地場産業の空洞化）、格差社会、基幹産業の衰退、少子高齢化、若い人口の流失、経営者の高齢化の進展などの諸問題がある。これまで地域経済を支えてきた中小企業・小規模事業者が市場から撤退することで、地域の活力が失われることが懸念されている。つまり、地域における経済的側面と社会的側面の二重の再生問題に直面している。

現在、地域に変化を生み出す人材が地域に入り始めており、「関係人口」と呼ばれる地域外の人材が期待されている。今まで観光による「交流人口」や、移住者・定住者を含む「定住人口」の増加を目指していたが、その間に存在している「関係人口」がいかにすれば増加するのかと注目されています。つまり「関係人口」は地方創生を実現する重要なカギの一つとなると考えられている。

地域経済活性化の担い手となる地域の外の人たちが地域と関わりを持つことで、地域の良さや欠点を発見し、客観的な視点から新たなアイデアを生み出す。ひいては、地場産業にイノベーションを生み出す担い手となりうる。

本研究は地方圏の閉塞感を打破する鍵の一つとして、地域にいる関係人口のダイナミズムに注目する。具体的には、地域を燕三条に絞って、関係人口が地域や地方自治体にどのような影響をあたえるのか、彼らが地場産業にイノベーションをもたらしたか、さらに起業活動にどのように影響を与えるのかを考察していく。つまり、地域内・外の人材が地域作りに果たす役割を明らかにしたい。



出所：<https://www.soumu.go.jp/kankeijinkou/about/index.html>



経営情報学部 経営学科
謝 凱雯 准教授
担当科目：経営学入門

HP

https://www.nuis.ac.jp/teacher_hsieh/

Researchmap

<https://researchmap.jp/hsiehkaiwen>